

Towa kakehashi

かけはし

Four Seasons News Letter 2024 Vol.2 spring



特集

脳卒中外科治療の現在

第一東和会病院

脳神経外科部長 朴 陽太

- 大阪医科薬科大学臨床教育教授
就任のごあいさつ 時岡 聡 加藤 稚佳子
- 新入職医師のご紹介
- 数字でみる東和会
- 地域連携の会 ご案内

脳卒中外科治療の現在

治療完了までの時間が予後に影響

第一東和会病院
脳神経外科部長

朴陽太

Paku Yante



平素より地域の先生方には大変お世話になっております。2024年1月より第一東和会病院脳神経外科に赴任いたしました朴陽太です。この場をお借りしてご挨拶申し上げます。

脳梗塞に対する血管内治療が拡大

本稿では脳卒中治療に関して、特に現在普及してきている急性期脳梗塞治療についてご紹介申し上げます。

脳卒中治療における血管内治療の適応は脳梗塞などの虚血疾患と脳動脈瘤(破裂・未破裂)2つです。脳梗塞に対する血管内治療は近年急速に拡大・普及してきた分野です。2020年9月より「3学会承認脳血栓回収療法実施医認定制度」が開始され、血管内治療専門医未取得の脳外科専門医でも治療が可能となりました。

脳梗塞の治療成績は大きく向上

脳梗塞治療は発症から治療完了までの時間経過がその予後に大きく関係されます。t-PA療法は発

症から4.5時間以内ですが、できる限り早期の投与開始が望ましいこと、発症時間未確定でもMRIなどで発症早期が予見される場合などは投与が可能となっております。

さらに大血管の閉塞に対しては、血栓回収療法が実施されます。2014年にステントリトリーバーが登場し、その治療成績が飛躍的に向上したことで世界的に普及しました。



▲ステントリトリーバー(上)とイメージ像(下) 出典: Stryker

上図がステントリトリーバー(Trevo NXT)の先端ステント部分です。マイクロワイヤーを先行しマイクロカテーテルで血栓を通過させます。その後内部ワイヤーをステントリトリーバーに交換し、マイクロカテーテルを引くとステントが展開(下図)され、血栓をステント内に引き込み、回収します。



▲実際の血栓とステントリトリーバー

ステントリトリーバーを用いた場合、90 日後の転機良好例 (modified Ranking Scale 0-2) は 26.5% から 46.0% と劇的な上昇を認めています。適応は、当初、発症 8 時間以内でしたが、虚血耐性のある場合には 24 時間以内まで拡大しております。ただ、t-PA と同様にできるだけ早い再開通が必要です。

治療に使用するデバイスも新規開発や改良が多く、今後も治療成績向上に期待が持てる分野です。当院でも 2018 年に脳卒中ホットライン開設と同時に多くの症例を経験し、脳外科スタッフやコメディカルで連携し治療成績向上に取り組んでおります。

脳動脈瘤は全例、血管内治療を実施

脳動脈瘤治療に関しては開頭クリッピング術が激減し、当院でも全例、血管内治療を行っております。開頭術と比較し侵襲度は低く、手術時間も 2 時間前後となり、未破裂脳動脈瘤の場合、入院期間がこれまでの 10 ~ 14 日から 7 日程度に短縮されています。脳出血の血腫除去術に対しては開頭

術と神経内視鏡での血腫除去を行います。神経内視鏡での血腫除去術は穿頭のみで血腫除去が可能であり、開閉頭の時間が短縮され、より短時間かつ低侵襲で手術加療が可能です。

当院は脳卒中に 365 日 24 時間対応

当院では血管内治療専門医 1 名、脳血栓回収療法認定医 1 名、専攻医 1 名の 3 名で 365 日 24 時間診療を行っております。

また、当院では整形外科がメインで脊椎変性疾患の診療を行っておりますが、赴任前の施設では年間 300 例 (個人担当として 120 例) ほど脳神経外科で手術を行っておりました。今後は整形外科と相談しながら、当科でも診療を行いたいと考えております。脳疾患、脊椎疾患の判別が困難な際はひとまず当科までご連絡いただければ幸いです。

これからも地域医療に貢献し、皆さまのお力になれるように頑張りたい所存です。

今後ともよろしく願い申し上げます。

第一東和会病院



一次脳卒中センターホットライン

☎ 072-671-8899 (直通)



24時間365日対応

脳卒中を疑う症例は、
気軽にコールしてください。
常に入院病床の確保に
努めております。



当センターでできる専門診療

- ① 超急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法
- ② 発症 24 時間以内の超急性期脳梗塞に対する脳血管内治療 (血栓回収療法や局所線溶療法)
- ③ くも膜下出血に対する脳血管内治療 (コイル塞栓術)
- ④ くも膜下出血や脳出血に対する開頭・内視鏡手術
- ⑤ 超急性期脳卒中リハビリテーション

大阪医科薬科大学 臨床教育教授

就任のごあいさつ



第一東和会病院
副院長 消化器内科部長

時岡 聡
Satoshi Tokioka

●自己紹介

平成3年大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）を卒業し、同第二内科に入局いたしました。その後講師、臨床准教授を経て、平成25年より現職の第一東和会病院副院長に就任しております。

また、消化器内科を専門としていることから、内科学会総合内科専門医・指導医、消化器病学会専門医・指導医、消化器内視鏡学会専門医・指導医、消化管学会専門医・指導医、肝臓専門医を取得し、日々後進の指導を行っております。

●当院 消化器内科の特色

当院消化器内科は現在、常勤医7人および非常勤医6人が在籍し、外来・入院診療、一般救急および諸検査を行っております。当院は、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会



指導施設、日本カプセル内視鏡学会指導施設の施設認定を受け、消化器内視鏡技師の資格を持った検査技師や看護師も8人が配属されていることから、高度で質の高い内視鏡医療を行うことができます。

また、消化管救急疾患に対する緊急内視鏡処置についても常時（24時間）対応可能な態勢をとっております。

●今後の抱負

今回、臨床教育教授に任命いただき、消化器内科医を目指す若い医師だけではなく、今後医師を目指す医学生に対しても教育、指導を行ってまいります。従って、一人前の医療人の育成に向けて臨床教育の充実は不可欠であり、責任は重大であることを実感しております。

また、医学生や若い医師たちに、地域医療を支えていただいている先生方の重要性を認識させるためにも、さまざまなご協力をいただくかもしれません。その際には、お手数をおかけするかもしれませんが、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年1月、第一東和会病院の医師2名が、大阪医科薬科大学臨床教育教授を拝命いたしました。
簡単ですが、今後の抱負について申し上げます。



第一東和会病院

婦人科部長

加藤 稚佳子

Chikako Kato

●自己紹介

私は愛媛大学を卒業し京都府立医科大学産婦人科にて研修、関連病院に勤務し学位も取得しました。2015年より第一東和会病院女性泌尿器科に勤務し、2017年より婦人科の部長も兼任しております。

●当院 婦人科の特色

当院の婦人科は一般外来診療と良性疾患を対象として外科的診療を行っています。約7割の手術が内視鏡手術で、最近はvNOTESにも取り組んでおり、膣からの腹腔鏡アプローチでの手術を行っています。その他外来での軟性子宮鏡検査、手術室での硬性子宮鏡下のポリープ切除、粘膜下筋腫切除なども行っています。

女性泌尿器科・ウロギネコロジーセンターでは、骨盤臓器脱、尿失禁や間質性膀胱炎といった治療



●Fotona社 インティマレーザー

を行っています。また2023年11月にFotona社のインティマレーザーを導入しました。最新のフェムテック機器であり、創をつけることなく表面麻酔のみで、1時間程度で外来治療が可能です。GSM（閉経関連泌尿生殖器症候群）や尿失禁、膀胱瘤、直腸瘤などの症例に行っています。

●今後の抱負

臨床教育の一環として大阪医科薬科大学より学生が実習にきています。産科や生殖医療を扱っていませんので少し偏った実習になりますが、婦人科、泌尿器科の中でもマイナーな女性泌尿器科の分野を学生にも知ってもらい、興味を持ってもらえるように尽力したいと考えております。

婦人科・女性泌尿器科ともに地域の先生方には常日頃、大変お世話になっております。今後も地域の一員として先生方に貢献できるよう、また今後この地域の医療が発展するように努力していきますので、今後ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

新入職医師のご紹介

病理診断科

おかだ よしかつ
岡田 仁克



専門は、病理診断のほか、細胞診断学（細胞診）および臨床検査です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

消化器内科

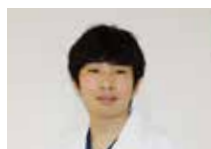
みとおか ひであき
三戸岡 英晃



1年ぶりに第一東和会病院で勤務することとなりました。4月よりよろしくお願ひします。

消化器内科

たまたに まさたか
瀧谷 真隆



皆さまに寄り添った医療を提供できるよう努めて参ります。よろしくお願ひ致します。

呼吸器内科・ 呼吸器外科

いしかわ ひろゆき
石川 浩之



呼吸器科、呼吸器外科を専門としてきました。職種を問わず、お声掛けください。

消化器外科

しまず かずあき
島津 和晃



最善の結果を出せるように精いっぱい務めて参ります。

整形外科

さの ようへい
佐野 庸平



今後は脊椎外科を勉強していこうと考えています。病院の力になれるようにがんばります。

耳鼻いんこう科

かわかみ みちろう
川上 理郎



耳鼻咽喉科専門医です。何卒、よろしくお願ひいたします。

婦人科 女性泌尿器科

やぎ かずのぶ
八木 一暢



ウロギネの研鑽を積むため、第一東和会病院に勤務することになりました。力を尽くします。よろしくお願ひします。

泌尿器科 女性泌尿器科

とい ゆきこ
土井 有紀子



ご本人のライフスタイルなどを考慮した上で、丁寧な診察を心掛けて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

泌尿器科

たなか みきと
田中 幹人



新しい病院で、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精いっぱいがんばります。

皮膚科

おうさか もえ
逢坂 萌



病気や治療への不安や疑問を少しでも解消し、皆さまが健康に過ごせるお手伝いができればと思っております。

麻酔科

さんとう まさし
山東 正志



麻酔科専攻医3年目です。出身地は和歌山県。出身大学は大阪医科大学です。よろしくお願ひします。

第二東和会病院 内科(循環器内科) サンガピア館 施設長

はやし てつや
林 哲也



地域医療に少しでも貢献できるようにがんばります。よろしくお願ひ致します。



第一東和会病院が日本専門医機構の 専門研修プログラムに認定されました



日本専門医機構とは「専門医制度」をつくることを目的にした機構です。医療を受ける皆さまにとって「専門医である」ことは専門の領域について十分な知識と経験をもってしていると判断できる目安になります。第一東和会病院は、同機構の内科領域専門研修プログラム整備基準において、プログラム認定基準を満たしていることを認定されました（認定機関 2024 年 4 月 1 日～2029 年 3 月 31 日）。

当研修プログラムを修了することで、内科専門医資格認定試験の受験資格を得られます。本年度より専攻医がプログラムに参加しています。このプログラムを通じて専門医を育成し、地域の皆さまが「安全で安心して暮らせる」ように尽力します。

東和会グループが 高槻シティハーフマラソンに参加 がん患者の方へメッセージを発信



1月21日に開催された高槻シティハーフマラソンに、東和会はグループで参加しました。目的は「がんとともに生きる患者さまを支えます」というメッセージをアピールすること。参加者27人はオリジナルのTシャツを着て、和気あいあいと走りながら、沿道で声援を送る市民の皆さまにメッセージを届けました。



第一東和会病院が医師の働き方改革をテーマに 高槻市医師会 勤務医会総会で講演を行いました



2月15日に行われた高槻市医師会勤務医会総会で、第一東和会病院 総務課の谷川仁志課長が「医師の働き方改革」をテーマに講演を行いました。主な内容は以下の通りです。

- ・ICの時間内実施
- ・特定行為看護師への業務委譲
- ・手術室、医師事務支援室での業務効率化

当病院では今後も、医師の働き方改革を推進して参ります。連携医療機関の皆さまにご協力をお願いすることもあるかと存じます。何卒、よろしくお願いいたします。



数字でみる東和会

以下のデータは2023年の実績です

■手術室手術

うち全身麻酔手術

4,885 件

2,751 件

急性期医療を担う第一東和会病院では、最新機器を揃えた6室の手術室を完備。手術件数の多さは地域の皆さまの期待の証として、私たちの誇りとするところです。



■連携医療機関

310 件超

地域でかかりつけ医を担われる 310 件超の医療機関と連携関係を築いています。



■救急車

4,443 件

手術・入院まで24時間365日対応できる体制を整えています。



■1日平均外来患者数

749.9 人



■年間新入院数

7,387 人



第21回 地域連携の会 ご案内

第21回地域連携の会を開催致します。先生方のご出席をお待ちしております。

日時 2024年6月29日(土)
16:00 ~ 18:30

場所 グランヴィア京都

案内文書を同封しています。詳細はそちらをご確認ください。

お問い合わせ：第一東和会病院地域連携室 TEL：072-671-1118 (直通)



昨年度の会場の様子